

COVID-19 が医療提供や患者の受診行動に与えた影響の検討：COVID-19 に伴う医療需給の急激な変化と整形外科領域における選択的手術の延期に関する要因分析に関する研究のお知らせ

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間	2023年7月12日～2024年3月31日
研究課題	COVID-19 が医療提供や患者の受診行動に与えた影響の検討：COVID-19 に伴う医療需給の急激な変化と整形外科領域における選択的手術の延期に関する要因分析
研究の概要	<p>目的及び意義：本研究では、神奈川県内の75歳以上の者を対象とした診療報酬データ、COVID-19 専用病床の稼働状況データ及び公的機関の公開データを用いて、医療機関ごとの COVID-19 専用病床の稼働状況や医師数などの医療資源の充足度の差異と整形外科領域における選択的手術の延期との関係について明らかにする。</p> <p>COVID-19 の流行に伴う選択的手術については、流行初期のいわゆる第1波および第2波による影響の議論が中心であり、感染者数および医療需要が急増した第3波および第5波についての研究は限定的である。そこで、本研究を通じて、当該影響を明らかにすることにより、新興感染症を含め、医療需給が急激に変化した際の医療提供体制の整備に関する議論に資する資料を提供することができる。</p> <p>2017年4月～2022年3月（以下「研究対象期間」という）において神奈川県の国保データベース（KDB）に登録のある後期高齢者医療制度の加入者のうち、人工関節手術または人工股関節手術を受けた者について、各病院における人工関節置換術の期待件数と実績値の時系列（月次）ごとの差（率）に対する各説明変数のオッズ比を、前後比較研究により明らかにする。</p> <p>方法：各病院における人工関節置換術の期待件数と実績値の時系列（月次）ごとの差（率）に対する各説明変数のオッズ比を、前後比較研究により明らかにする。</p> <p>対象：2017年4月～2022年3月（以下「研究対象期間」という）において神奈川県のKDBに登録のある後期高齢者医療制度の加入者のうち、人工関節手術または人工股関節手術を受けた者を対象とする。</p>
研究組織	<p>【研究代表者】</p> <p>ヘルスイノベーション研究科 准教授 渡邊 亮</p> <p>【研究分担者】</p> <p>ヘルスイノベーション研究科 博士課程 江頭 勇紀</p>
個人情報の取扱い	<p>神奈川県立保健福祉大学の「人を対象とする医学系研究における人体から取得された試料及び情報等の提供及び保管に関する手順書」に従ってデータを管理する。</p> <p>(1) 情報の内容</p> <p>名称：国民健康保険データベース（KDB）</p> <p>内容：後期高齢者医療制度レセプトデータ、被保険者マスターデータ</p> <p>種類：無記名、対応表は作成しない、匿名化するため個人情報は含まない</p> <p>(2) 情報の匿名化</p>

	<p>データ提供元において、個人を特定できる情報（氏名、住所、生年月日）を除外した形で研究用番号を付し、匿名加工されている。</p> <p>(3) 情報の利用方法及び持出し</p> <p>研究データは本計画書に記載された研究目的に利用し、他の目的には利用しない。データ分析は本学殿町キャンパス3階サーバールームにおいてのみ実施し、データは研究室外に持ち出さない。</p> <p>(4) 運用責任者（情報システム運用責任者）</p> <p>研究代表者が運用責任を負う。</p> <p>(5) 情報の取扱者</p> <p>データを取り扱うのは、研究組織のメンバーに限られる。</p> <p>(6) 死者の情報を取り扱う場合と配慮</p> <p>死亡患者が対象に含まれる場合もある。データの取扱いは生存患者のデータと同様に行う。</p>
その他	特になし

対象となる方で、研究の内容や、ご自身の検査結果などの研究への使用に関して、より詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

〔問い合わせ先〕

研究代表者：ヘルスイノベーション研究科 准教授 渡邊 亮
TEL : 044-589-8100 (代表)